

1. あいさつ

2. 審議

①第3次甲賀市行政改革推進計画の中間総括について

(事務局から資料内容の説明)

【質疑応答】

- 大家委員 3頁の歳入の確保の一番下の部分で文字が途切れている。
事務局 資料の訂正を行う。
新川委員長 第3次甲賀市行政改革推進計画の中間総括については、事務局と担当各課でまとめられたものを当委員会として説明を聞いたということにさせていただく。

②第3次甲賀市行政改革推進計画の変更に関する審議予定について

(事務局から資料内容の説明)

【質疑応答】

- 小林委員 総合計画が市全体の経営計画、大きな方針として存在し、その中にこの行政改革推進計画が位置付けられているという理解でよいか。
事務局 まちづくりについて全体を包括した最上位計画として総合計画があり、これに個別の分野別計画がぶら下がっているようなイメージである。行政改革推進計画も分野別計画のひとつである。
寺井委員 今後の評価については、これまで評価していないものを評価するのか、あるいはしているが課題があるものを評価していくのか。
事務局 これまでの取り組みや、今後の経過を追う必要がありそうだというものについて評価を行うという整理をしたい。
奥田委員 今現在の63項目をどのように絞るかということは考えられていないのか。
事務局 これまでの外部評価の実施状況から、10項目から14項目くらいで限界ではないかと考えているので、その数を上限と考えていきたい。
奥田委員 アウトソーシングの推進などは非常に大事だと思うし、今の部分だけでよいのかというところではないと思うし、どの辺を見直しするのか。
事務局 全ての仕事を公がする必要はなく、草の根的にまちづくりを進めていただけると

ころは、民間企業や自治会、団体等に任せて、今後は単にアウトソーシングということではなく、官と民とが互いに協力しながら取り組みを進めていけるよう公民連携に着目するようという意見をいただいている。

当委員会で評価いただいた際も抜本的な見直しという評価をいただいたので、働き方改革も考慮しながら今後の取り組みの見直しを進めていきたい。

大家委員 区や自治会の役が溢れかえっている。もう少し簡素化してほしい。市の委員と自治会の役をもう少し上手く整理してほしい。

事務局 地域等をお願いしている仕事の中身そのものについても見直しをしていく必要があるだろうし、人口減少問題もあるので、それらを含めて今後のあり方、今後の地域づくりのあり方を見直ししていく必要があると考えられる。

寺井委員 私たちが評価しやすい項目で評価させてもらったほうがよいと思う。外部のものが意見を言いやすいような会議であってほしい。

③甲賀市公共施設等総合管理計画 公共施設の最適化計画について

(事務局から資料内容の説明)

【質疑応答】

奥田委員 財政的な面で30%を削減するということが、家の近くの施設は残してほしいという思いは誰にもあると思う。もし施設がなくなるなら、同時に移動手段も講じてほしい。

小林委員 他の自治体でも同様の計画に取り組まれているのか。

事務局 総務省から要請があり、全国的に取り組んでいる。

小林委員 進捗がかなり進んでいる、参考になるような自治体はあるのか。

事務局 全国的には、個別計画の策定まで終わっているところもある。県内ではまだそれほど進んでいないようであるが、長浜市は策定されたようである。

寺井委員 新設の施設が水口ばかりなので、周辺の町の過疎化が進んでしまわないように、人口密度だけで考えないようにすることが大事。高齢者が増えるなかで、近くに集まれる場所があるということは大事なことだと思う。

事務局 昨年11月、12月にタウンミーティングを実施して、市の財政状況や社会的背景について理解いただけたと考えている。

ただし、自らが居住する地域の有様について心配するご意見もいただいた。

今後の取り組みとして学区単位で地域を回っての意見交換をしながら、皆さんに参画いただいて議論を重ねていきたい。

移動手段も同様に考えていく必要があるという意見もあり、それも重く受け止めている。

寺井委員 私の地域で利用者が少なかったコミュニティバスがなくなって、小さなコミタク

に変わったことは一歩前進と考えられる。タクシーとの関係もあるが、自由に行きたいところへ行けるようになれば不自由は感じなくなるかもしれない。

小林委員

特に廃止せざるを得ない施設の活用をどうしていくかが課題だと思う。最近では廃校を使って宿泊施設として利用されているところもある。そういうところを狙ってどういう事業が出来るかを考える民間の団体等があるらしい。そういったところで古い建物を活用するということをやれば、雇用を生む可能性もある。ここでこそ、民の活用ということを検討されたらどうか。

事務局

学校ということであれば、土山で2校が廃校になった。跡地の活用については課題であるが、政策推進課が地域の皆さんとともに検討している。

今後、地域の皆さん方とともに、有効活用を図る方法を考えていきたい。

3. その他